



リリースノート

バージョン:	15 Upgrade #2.10 WorkWithPlus for Web / WorkWithPlus for Native Mobile
更新日:	2024年4月9日
互換性:	GeneXus 18



目次

WorkWithPlus 15 Upgrade #2	3
WorkWithPlus 15 Upgrade #2 のインストール	4
WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 への更新	4
WorkWithPlus for Native Mobile 15 Upgrade #2 への更新	7
解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.1)	10
新機能および解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.2)	11
解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.3)	12
新機能および解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.4)	12
新機能および解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.5)	13
解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.6)	15
解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.7)	16
解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.8)	17
解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.9)	19
解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.10)	19



WorkWithPlus 15 Upgrade #2

本書では、WorkWithPlus for Web および Native Mobile のバージョン 15 Upgrade #2 の機能の概要、および採用するにあたって考慮する必要のある事項について説明します。

最新のバージョン 15 Upgrade #2.9 は、2024 年 4 月 10 日にリリースされました。

ダウンロード

このバージョンは GeneXus Japan の[製品ダウンロード](#)ページからダウンロードできます。

概要

このアップグレードには、アプリケーションを作成するためのオプションを増やすために、[デザイン システム ウィザード](#)の新しいオプションとカスタマイズが含まれています。この新しいバージョンでは、動的フォームの作成、AI を活用したアプリケーションへの意図ベースのナビゲーションの追加などが可能になります。

新機能については、以下のリンク先を参照してください。

<https://docs.workwithplus.com/wiki?4753>

互換性

このバージョンは、GeneXus 18 Upgrade 0 以降のバージョンと互換性があります。

採用方法

WorkWithPlus for Web の環境の場合、「[WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 への更新](#)」で説明されている手順に従う必要があります。

WorkWithPlus for Native Mobile の環境の場合、「[WorkWithPlus for Native Mobile 15 Upgrade #2 への更新](#)」で説明されている手順に従う必要があります。

詳細については、[クイック スタート ガイド](#)を参照してください。



WorkWithPlus 15 Upgrade #2 のインストール

ダウンロードとインストール

お使いの GeneXus バージョンに応じて GeneXus Japan の[製品ダウンロード](#)ページからセットアップをダウンロードし、手順に従ってセットアップを実行します。

ライセンスの有効化

初めて WorkWithPlus for Web をインストールする場合で、まだライセンスがインストールされていない場合は、お買い求めのパートナーまたは弊社まで WorkWithPlus for Web ライセンスの取得方法をお問い合わせください。

既に WorkWithPlus for Web のライセンスを所有していて、最新のメンテナンスを行っている場合には、ライセンスを更新する必要はありません。WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 をインストールするだけで、すぐに使用できるようになります。

既に WorkWithPlus for Web のライセンスを所有していて、最新のメンテナンスを行っていない場合には、お買い求めのパートナーまたは弊社まで WorkWithPlus for Web ライセンスのアップグレード方法をお問い合わせください。

ナレッジベースの変換

ナレッジベースを以前の WorkWithPlus バージョンから WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 に移行する予定がある場合は、次の「[WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 への更新](#)」を参照してください。

WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 への更新

WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 をインストールすると、次のシナリオが可能になります。

既存のデザインシステムで WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 を使用する

このシナリオでは、WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 セットアップをインストールし、KB を開きます。これで、新しい機能を使用したり、通常どおりアプリを実行したりする準備が整いました。

WorkWithPlus を任意のオブジェクトに適用すると、WorkWithPlus はカスタマイズ (最後にデザイン システム ウィザードを実行するときに選択したもの) に従ってベースのデザインシステムを再インポートし、新しいテンプレートもインポートします。

常に回帰テストを実行して、各バージョン内で生成されたコードが同じであることを確認するために、画面を再度テストする必要はありません。

WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 を使用し、利用可能なデザインの1つを適用する

既に実行している KB で WorkWithPlus for Web を実行する場合、特定のシナリオで従うべき手順がいくつかあります。

「デザイン システム ウィザード」を実行して新しいデザイン システムを選択するか、現在のデザインシステムを選択して変更を加えると、WorkWithPlus はウィザードの前の実行で行った変更に必要なオブジェクトのみをインポートします。また、WorkWithPlus 設定では、すべてのルール、自動条件、ラベル、オブジェクト名、テンプレートなどが維持されます。そのため、いくつかのシナリオが考えられます。

シナリオ 1: 既存のテンプレートを再インポートする必要はない

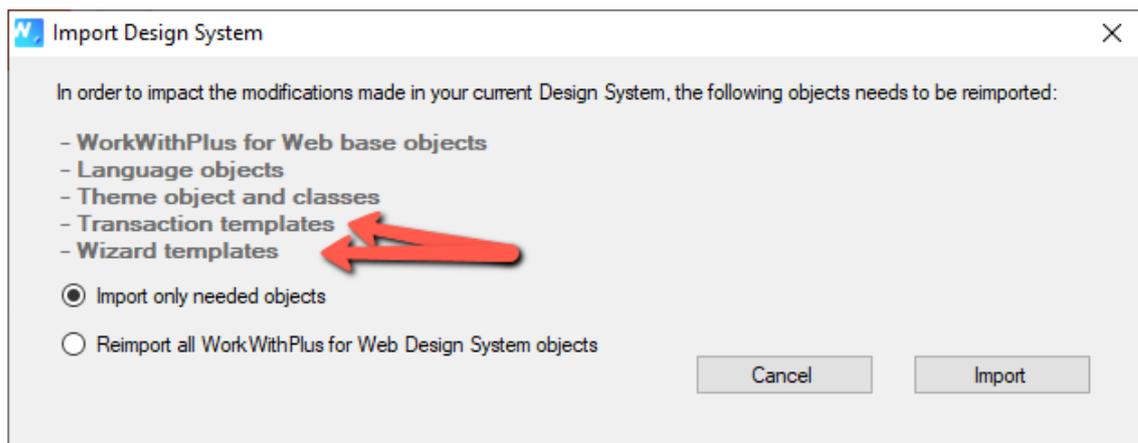
この場合、ウィザードを再実行する手順は次のとおりです。

1. デザイン システム ウィザードを実行し、任意のデザインシステムを選択して、必要なカスタマイズを行います。
2. WorkWithPlus メニュー -> 「パターンインスタンス」 -> 「すべてのパターンを適用」と選択します。

シナリオ 2: 既存のテンプレートを再インポートする必要がある

この場合、ウィザードを再実行する手順は次のとおりです。

1. WorkWithPlus メニュー -> 「パターンインスタンス」 -> 「すべてのインスタンスを更新済みとしてマーク」と選択します。
2. デザイン システム ウィザードを実行し、任意のデザインシステムを選択して、必要なカスタマイズを行います。ウィザードの最後の手順で、WorkWithPlus for Web が KB オブジェクトで使用しているテンプレートの一部（トランザクションテンプレート、リスト オブジェクト テンプレートなど）をインポートすることが表示されます。



3. WorkWithPlus メニュー -> 「パターンインスタンス」 -> 「すべてのインスタンスを更新」と選択します。
4. アプリケーションを実行します。

WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 を Theme オブジェクトとともに使用する (WorkWithPlus for Web 14 以前で作成されたテーマ)

このシナリオでは、WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 セットアップをインストールし、KB を開きます。これで、新しい機能を使用したり、通常どおりアプリを実行したりする準備が整いました。

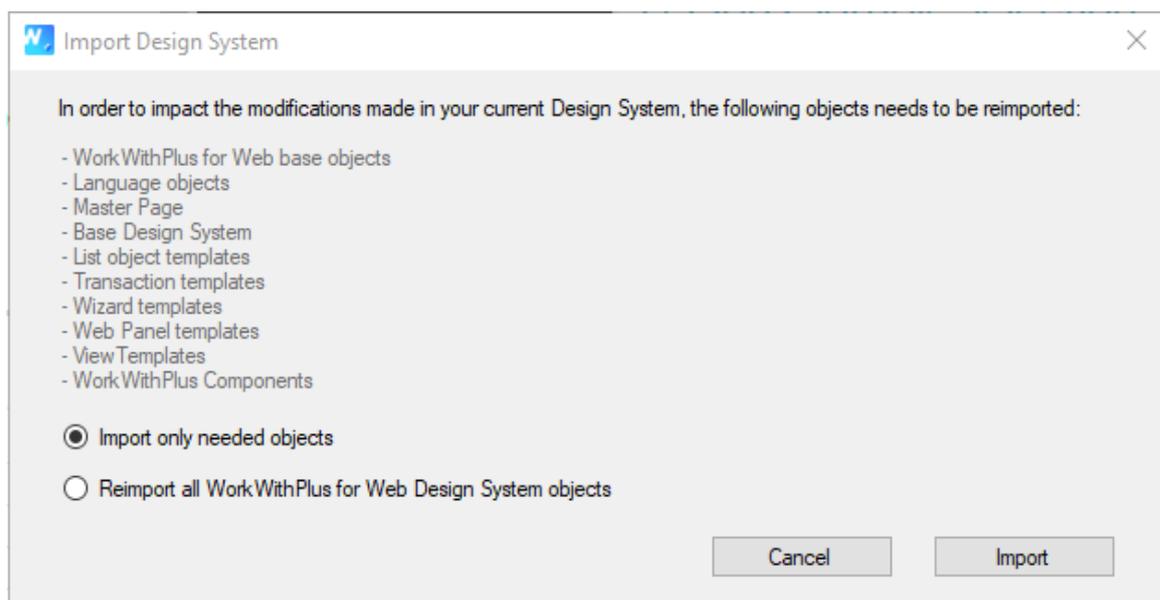
新しい WorkWithPlus コンポーネントと更新されたテンプレートは、Design System オブジェクトのクラスを使用するため、デザイン システム ウィザードを実行するまで適用されません。デザイン システム ウィザードを実行せずにコンポーネントを取得したい場合は、次の手順に従う必要があります：[「現在の KB 内のコンポーネントの影響」](#)

常に回帰テストを実行して、各バージョン内で生成されたコードが同じであることを確認するために、画面を再度テストする必要はありません。

WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 を使用して Design System オブジェクトに移行する

(WorkWithPlus for Web 14 を使用していたが、以前はデザインシステムに移行しにくかったなどの理由により) Theme オブジェクトを使用して作業を続けており、Theme オブジェクトの代わりに Design System オブジェクトを使用して KB を作成したい場合は、次の手順に従う必要があります。

1. WorkWithPlus メニュー -> 「パターンインスタンス」 -> 「すべてのインスタンスを更新済みとしてマーク」と選択します。
2. デザイン システム ウィザードを実行し、現在のデザインシステムを選択して、最後のステップに進みます。WorkWithPlus は、再インポートするオブジェクトを表示します。





デザイン システム ウィザードの実行中にカスタマイズを行うことができます。その場合、他のオブジェクトがインポートされることがあります（これは、前に表示されるメッセージで指定されます）。

HTML からレスポンシブ Web デザインへの移行

ナレッジベースがまだ HTML で表示されている (レスポンシブでない) 場合は、次のリンクも参照することを強くお勧めします。

- [HTML とレスポンシブ Web デザインの主な違い](#)
- [WorkWithPlus を使用せずに WebPanel をレスポンシブ Web デザインに移行する](#)

WorkWithPlus for Native Mobile 15 Upgrade #2 への更新

WorkWithPlus for Web と Native Mobile で 15 Upgrade #2 をインストールすると、次のシナリオが可能になります。

WorkWithPlus for Web および Native Mobile 15 以前のアップグレードからの移行

WorkWithPlus for Native Mobile 15 (Upgrade #0 または Upgrade #1) を使用して作成されたナレッジベースから移行する場合は、次の操作を実行できます。

テンプレートを更新せずに、デザインとパネルを維持する

このシナリオでは、ナレッジベースで操作を実行する必要はありません。セットアッププログラムを実行して、通常どおり作業を続けるだけです。

テンプレートを更新しない場合、Work With テンプレートやアニメーションなどの一部の新機能が使用できなくなることを考慮してください。

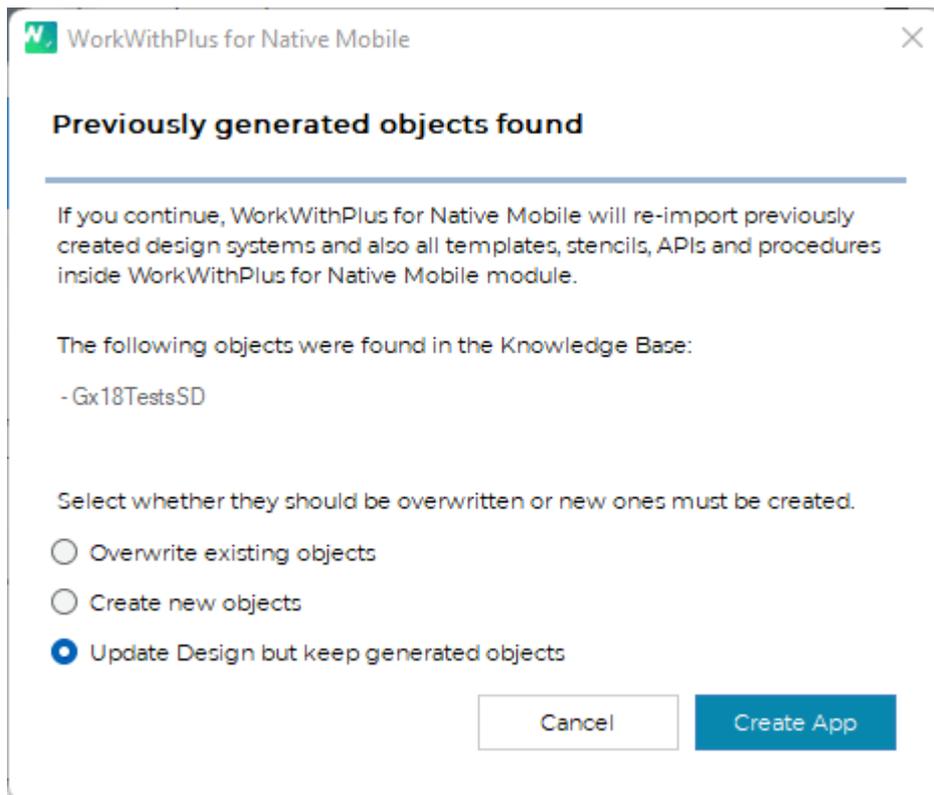
デザインとパネルは維持するが、すべてのテンプレートとベース デザイン システムを更新する

新しい機能 (Work With テンプレートやアニメーションなど) の使用を開始するには、ナレッジベースのテンプレートとベースとなる API オブジェクトを更新する必要があります。

シナリオ 1: 変更を損なわずに更新する

テンプレートと API を更新するには、デザイン システム ウィザードを実行し、最初に選択したのと同じデザインを選択する必要があります。(例: E コマース)

WorkWithPlus は、KB 内に以前にオブジェクトを作成したことを通知するダイアログを表示します。ここで、**[既存のオブジェクトを変更せずにデザインのみを更新]**: オプションを選択する必要があります。



WorkWithPlus は次を実行します :

- すべてのテンプレートの更新
- 新しいテンプレートのインポート
- ベースとなるデザインシステムの再インポート (ベースのデザインシステムに変更を加える必要はありませんが、変更を加えた場合、変更は損なわれます)
- ベースのリソース (画像、フォント、API、サンプルプロシーチャーなど) の再インポート

このオプションを選択しても、生成されたオブジェクトは**変更されません**。

- ホームパネル
- メニューパネル
- ログインパネル
- ユーザー登録パネル
- ユーザー デザイン システム

つまり、上記のオブジェクトを変更していない限り、最初のデザインシステムの実行後に適用したオブジェクトやデザインのカスタマイズは失われません。

シナリオ 2: 生成されたオブジェクトを更新および上書きする

オプションとして、代わりに「既存のオブジェクトを上書き」オプションを選択できます。

これにより、必要なすべてのオブジェクトが更新されます（上記のオプションと同様）。ただし、次のオブジェクトは上書きされず（選択されている場合）。

- ホームパネル
- メニューパネル
- ログインパネル
- ユーザー登録パネル

このオプションを使用すると、テンプレートを変更したり、上記のオブジェクトを元の状態に復元したりできます。

古いバージョンまたは外部デザインからの移行

古いバージョンまたは外部デザイン（WorkWithPlus で作成されていないデザイン）から移行する場合は、次のいずれかを行うことができます。

テンプレートを使用せずに、デザインとパネルを維持する

このシナリオでは、デザイン システム ウィザードを実行し、[デザインをスキップ] オプションを選択する必要があります。

これにより、階層エディターと基本機能を使用するために必要な最小限の API とオブジェクトがインポートされます。

テンプレートおよびデザインを更新しない場合、テンプレート、アニメーションおよびフォントアイコンなどの一部の新機能が使用できなくなることを考慮してください。

デザイン システム ウィザードを使用して新しいアプリケーションを作成し、変更内容を移行する

すべての機能を使用するには、デザイン システム ウィザードを使用して新しいアプリケーションを作成する必要があります。

現在のデザインに最適なデザインを選択し、ウィザードに従ってください。

アプリケーションが作成されたら、テーマの変更を新しいデザインシステムに手動で移行する必要があります。

解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.1)

リリース日: 2023 年 10 月 25 日

GAM の完全なバックエンドとページのタイトルに関する問題

[Issue 12976](#)

完全なバックエンドとページ上のタイトルを備えた GAM を選択してデザイン システム ウィザードを実行する場合、オブジェクトをインポートしようとするエラーを返します。

イタリア語と Dynamic Forms モジュールの問題

[Issue 12974](#)

イタリア語の Dynamic Forms モジュールを含めようとする、オブジェクトのインポート時にエラーを返します。

セキュリティなしの通知およびサブスクリプションモジュールおよび Dynamic Forms モジュールの問題

[Issue 12975](#)

セキュリティなしで通知およびサブスクリプションモジュールを Dynamic Forms モジュールと共にインポートしようとする、オブジェクトのインポート時にエラーを返します。

複数のビューを持つリストのグリッドの [Group Type] プロパティ

[Issue 12969](#)

複数のビューを持つリストがある場合、通常のグリッドの [Group Type] プロパティは表示されません。

複数のビューを持つリストのグリッド内の「Confirm = True」のアクション

[Issue 12970](#)

複数のビューを持つリストのグリッド内で「Confirm = True」のアクションがある場合、パターンを適用するときにいくつかのエラーが表示されます。

WorkWithPlus for Web でセキュリティタイプを Advanced に設定している場合に WorkWithPlus をパネルに適用する (Native Mobile)

[Issue 12955](#)

「セキュリティタイプ= Advanced」で設定された WorkWithPlus for Web を備えたナレッジベースがあり、Native Mobile も設定されている場合、パターンが SDPanel に適用されると、WebPanel NotAuthorized への呼び出しが開始イベントに追加されます。



フリー スタイル グリッド内のポップアップとして標準アクションを含む Drop Down アクショングループ

[Issue 12936](#)

標準アクションをポップアップとして含む Drop Down アクショングループ（フリー スタイル グリッド内）を持つ Card リストがある場合、アクショングループは正しく機能しません。

BC に基づく変数で「現在のパネルのレイアウトから作成」を使用する

[Issue 12931](#)

WorkWithPlus を使用せずに、レイアウト内のビジネス コンポーネントに基づく変数を含む Web パネルを作成した場合、「現在のパネルのレイアウトから作成」機能を使用して WorkWithPlus インスタンスを作成すると、次のエラーが表示されます。

不明な eDBType: GX_BUSCOMP (DDevelop.Patterns.WorkWithPlus)

BC を使用した WebPanel のユーザーコードと「レコードオプションの追加」による拡張コンボ

[Issue 12927](#)

Web パネルに BC があり、その項目属性の 1 つをユーザーコードと「レコードオプションの追加」の拡張コンボで設定すると、実行時に正しく機能しません。

リストテンプレートに基づくパネルの複数のレイアウト (Native Mobile)

[Issue 12899](#)

リストテンプレートに基づくパネルに複数のレイアウトを追加しようとすると、パターンを適用するときに次のようなエラーが表示されます。

==== パターン生成 (WorkWithPlusPanel1) が開始されました =====

エラー: 「DDevelop.Patterns.WorkWithPlus.LayoutElement」タイプのオブジェクトを

「DDevelop.Patterns.WorkWithPlus.IGeneratedObject」タイプにキャストできません。

新機能および解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.2)

リリース日:2023 年 11 月 3 日

新機能

次の機能が WorkWithPlus 15 Upgrade#2.2 で追加されました。

- 日付ピッカーによる日付の書式設定
- アクショングループの DetailWebComponent
- MSBuild タスク

問題

初期値と「Allow multiple selection = true」の項目属性に基づくタイトルフィルタ

[Issue 12981](#)

初期値と「Allow multiple selection = true」の項目属性にタイトルフィルタ (例: コンボボックスの項目属性) がある場合、GeneXus によって指定された後、Export オブジェクトはエラーを返します。

Display または Delete モードのトランザクションの従属レベル (グリッド) での拡張コンボ

[Issue 12977](#)

トランザクションの従属レベル (グリッド) に拡張コンボがある場合、ページが Display または Delete モードでアクセスされると、デスク립ションの代わりに値が表示されます。

解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.3)

リリース日:2023 年 11 月 7 日

GeneXus 18 U6 の GAM の互換性

WorkWithPlus 15 Upgrade #2.3 は、GeneXus 18 U6 の GAM と互換性があります (GAM およびドメインの一部のオブジェクトの名前が変更されています)。

新機能および解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.4)

リリース日:2023 年 11 月 13 日

新機能

次の機能が WorkWithPlus 15 Upgrade#2.4 で追加されました。

- [トランザクションと Web パネルのグリッドに既存の変数を追加する](#)

問題

GAM の翻訳がインポートされない

GeneXus 18 U6 内の GAM は多言語であり、翻訳に関連するファイルが自動的にインポートされないため、WorkWithPlus でパッケージ化された GAM を選択すると、実行時にラベルが正しく表示されません。

DSW におけるパッケージ化された GAM と完全なバックエンドの問題

[Issue 12986](#)

デザイン システム ウィザードで [GAM セキュリティを含める] オプションを選択しており、それを [完全なバックエンド] オプションに変更して WorkWithPlus で画面をインポートする場合、それらの画面はインポートされず、フロントエンドのみがインポートされます。

範囲フィルタと動的リスト値の両方を持つタイトルフィルタ

[Issue 12989](#)

範囲タイトルとして設定されたタイトルフィルタと動的リストを持つ List オブジェクトがあり、[Allow multiple selection] = [True] のとき、範囲フィルタでフィルタリングされません。

[Regular] スタイルなしのグリッドで編集可能な拡張コンボボックス

[Issue 12985](#)

[Data Source From] = [Attributes] であり、[Style] が [Regular] ではなく、[Item Values] と [Item Descriptions] に同じ項目属性が設定されているグリッド内に編集可能な Extended Combo があるとき、グリッドがリフレッシュされるとコンボボックスの値が表示されます。

List オブジェクトに 20 を超える値のあるコンボ ボックス フィルタ

[Issue 12988](#)

20 を超える値のあるコンボ ボックス フィルタを持つ List オブジェクトがあるとき、パターンを適用すると GeneXus がフリーズします。

新機能および解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.5)

リリース日:2023 年 11 月 23 日

新機能

次の機能が WorkWithPlus 15 Upgrade#2.5 で追加されました。

- [WorkWithPlus for Native Mobile カレンダーの週の始まり](#)
- AI の意図に基づくナビゲーションの主な改善点: このバージョンでは、List オブジェクトに対して利用可能なすべてのフィルタによるフィルタリングが可能になりました (バージョン 15 Update #2.4 までは、「タイトルフィルタ」のみが考慮されていました)。また、より適切な結果を得るために、いくつかの最適化が行われました (これは、任意のオブジェクトにパターンを適用した後、ナレッジベースに自動的にインポートされます)。

問題

GAM を使用した場合に View オブジェクトの [全般] タブで [更新] および [削除] アクションが機能しない (Native Mobile)

[Issue 12998](#)

[View] パネルで既定のリストパネルを作成するとき、ナレッジベースで GAM が有効になっていると、[View] パネルの [全般] タブにある [更新] および [削除] アクションが正しく機能しません。これらのアクションのいずれかをタップすると次のメッセージが表示されます: 「アクションは表示されなくなりました」。

AI モジュールの無効化後に表示されるデザイン システム ウィザードのエラーメッセージ

[Issue 12997](#)

最初のステップで AI モジュールを無効化し、[マスターページ] ステップに移動すると、ウィザードにエラーが表示されていました。

トランザクションの従属レベルに基づく List オブジェクトの AI

[Issue 12994](#)

従属レベルで [Transaction Level Name] プロパティが設定された List オブジェクトがあるとき、AIData オブジェクトで仕様に関するエラーが発生します (項目属性がインスタンス化されていません)。

WorkWithPlus の Web ページが外部サイトの iframe にロードされる

[Issue 12995](#)

WorkWithPlus で作成された Web ページを外部サイト (元の場所とは異なるサイト) から iFrame で読み込むと、ブラウザのデバッグコンソールに次のようなエラーが表示されます:

```
DOMException: Blocked a frame with origin "... " from accessing a cross-origin frame..
```

[メタデータに反映] の問題

[Issue 12987](#)

[メタデータに反映] プロセスを実行するとき、パターンによって作成されないものも含めて、すべての GAM イベントが削除されます。このバージョンでは、List オブジェクトに対して利用可能なすべてのフィルタによるフィルタリングが可能になりました (バージョン 15 Update #2.4 までは、「タイトルフィルタ」のみが考慮されていました)。また、より適切な結果を得るいくつかの最適化が行われました (これは、任意のオブジェクトにパターンを適用した後、ナレッジベースに自動的にインポートされます)。



解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.6)

リリース日:2023 年 12 月 8 日

問題

タグが設定されたグリッドの項目属性および [Dynamic variables for Conditional Formatting]

[Issue 13004](#)

[Dynamic variables for Conditional Formatting] に追加された変数をその条件で言及するタグがあり、そのタグが設定された項目属性を持つ List オブジェクトがあるとき、ユーザーは実行時に動的変数を設定できません。

アクションのある Web パネルの [現在のパネルレイアウトから作成] が適切な既存イベントを参照しない

[Issue 13003](#)

手動で (WorkWithPlus を使用せずに) Web パネルを作成し、[現在のパネルレイアウトから作成] 機能を使用するとき、Web パネルにアクションがあると、そのアクションのイベントは WorkWithPlus で作成された対応するアクションに関連付けられません。

AI の改善点

意図に基づくナビゲーションでは、トランザクションに移動して (データを事前に初期化することなく) 新しいレコードを挿入したり、レコードを更新または削除したりすることもできるようになりました。

外観と操作感の複数の修正

外観と操作感が複数修正されました。



解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.7)

リリース日:2023 年 12 月 21 日

問題

WorkWithPlus を使用せずに Web パネルで GeneXus のレイアウトエディターのボタンをダブルクリックする

[Issue 13010](#)

WorkWithPlus を使用せずに Web パネルで GeneXus のレイアウトエディターに新しいボタンを追加してダブルクリックすると、新しいイベントがクリアされることがあります。

List オブジェクトの Free Style Grid でプロパティ [Include Rows Per Page Selector] が表示されない

[Issue 13011](#)

[Free style grid] を持つ List オブジェクトで [Include Pagination Bar] = [True] を設定したとき、[Include Rows Per Page Selector] プロパティが表示されるはずですが、表示されません。

回避策として、[Free style grid] を空のテンプレートを持つインスタンスにコピーし、そのインスタンスでプロパティを変更した後、[Free style grid] を元のインスタンスにコピーできます。

Android: GeneXus 18 Upgrade 7 との互換性の追加

WorkWithPlus Android ライブラリが更新され、GeneXus 18 Upgrade 7 でリリースされた GeneXus FlexibleClient の新バージョン (バージョン 2.0) がサポートされました。

解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.8)

リリース日:2024 年 2 月 23 日

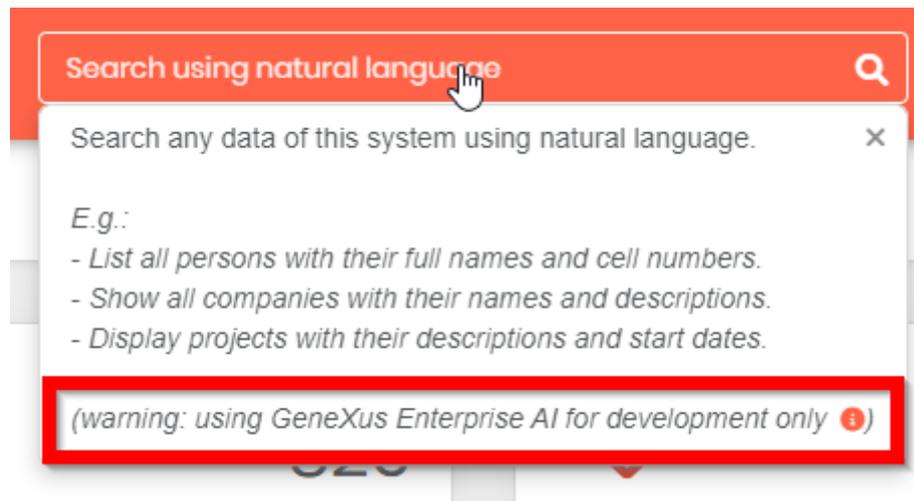
GeneXus 18 Upgrade 8 との互換性

WorkWithPlus 15 Upgrade #2.8 は、GeneXus 18 Upgrade 8 と互換性があります。以前のバージョンの WorkWithPlus では、GeneXus の変更により IDE で異常終了が発生しました。

AI オブジェクト向けのパッケージ化されたモジュール

WorkWithPlus は、カスタマイズを必要としない AI オブジェクト向けにパッケージ化されたモジュールを作成し、GeneXus Server で指定、生成、コンパイル、管理などの必要がある KB 内のオブジェクトの生成数を減らしました。このパッケージ化されたモジュールは、ナレッジベース内で WorkWithPlus AI モジュールを有効にしたインスタンスを適用すると、自動的にインストールされます。

また、このバージョンでは、AI モジュールを含めるときに、GeneXus Enterprise AI のライトバージョンのサブスクリプション要件が明示され、次のメッセージが表示されます：



詳細については、次の[リンク](#)を参照してください。

サービスレイヤーでのディスカッションモジュールのサポート

WorkWithPlus では、[データアクセスの実装] オプションで [サービスレイヤー] を選択すると、ディスカッションモジュールを選択できるようになりました。

サービスレイヤーでの通知およびサブスクリプションモジュールのサポート

WorkWithPlus では、[データアクセスの実装] オプションで [サービスレイヤー] を選択すると、通知およびサブスクリプションモジュールを選択できるようになりました。

サービスレイヤーでのダイナミック フォーム モジュールのサポート

WorkWithPlus では、[データアクセスの実装] オプションで [サービスレイヤー] を選択すると、ダイナミックフォーム モジュールを選択できるようになりました。

[Delete] ノードのトランザクションにコメントがある場合の [Confirm]

[Issue 13019](#)

Trn_Enter アクションで [Confirm] = [True] かつ [Comment] = [Optional] または [Comment] = [Required] のとき、削除モードでは確認パネルのコメントフィールドが読み取り専用で表示されます。

外部キーを含む複数の主キーがある場合のトランザクションの Prompt Multiple

[Issue 13015](#)

複数の主キー項目属性を持つトランザクションで Prompt Multiple があり、最初のキー項目属性が外部キーであるとき、パターンを適用するとエラーが表示されます。

以前のバージョンでの回避策として、プロパティ [Full level key] = [None] を設定し、[Parameters] ノードにキー項目属性を手動で追加します。

AI の意図によるリダイレクトで Standard Actions の設定が考慮されない

[Issue 13014](#)

トランザクションで AI モジュールが有効になっているとき、挿入、更新、削除の意図でユーザーをリダイレクトするコードでは、List オブジェクトの対応する Standard Actions のカスタマイズ (条件、ポップアップ、パラメータ、およびセキュリティ) が考慮されません。

List オブジェクトのカスタマイズされたコンポーネント内で変数を追加する

[Issue 13013](#)

List オブジェクトに含まれるカスタマイズされた WorkWithPlus コンポーネント内で変数を追加するとき、エラーが表示されていました。

8 つ以上のタグを含むフィルタ付きグリッド項目属性

[Issue 13012](#)

8 つ以上のタグを含むフィルタ付きグリッド項目属性が List に含まれるとき、パターンを適用するとエラーが表示されました。

生成されたパネルの IDE プレビューからアプリケーションバーのキャプションを更新する (Native Mobile)

[Issue 13006](#)

メインパネルとは異なるパネル (例: リストパネルのトランザクションパネル) の IDE プレビューを使用してアプリケーションバーのタイトルを更新するとき、キャプションは更新されません。キャプションを変更するには、正しいパネル (例: <PanelName>Data for the Transaction) を開き、オブジェクトのプロパティから直接キャプションを変更する必要があります。

テンプレートが Native Mobile フォルダに作成されない (Native Mobile)

[Issue 12993](#)

WorkWithPlus 設定からテンプレートを作成するとき、テンプレートが Native Mobile フォルダには作成されず、Web テンプレートフォルダに作成されます。

解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.9)

リリース日:2024 年 3 月 6 日

保存しないと [Events (by WorkWithPlus)] 編集タブから他の編集タブに変更できない

[Issue 13023](#)

特定のシナリオにおいて、開発者が保存しないと [Events (by WorkWithPlus)] 編集タブから他の編集タブに変更できませんでした。開発者が他のタブをクリックしてもエディターが変更されないときに、GeneXus の出力に次のようなエラーが表示されます:

WorkWithPlus によって生成されたコードは手動で変更できません。

さらに、場合によっては (Transaction オブジェクトのみ)、いくつかのイベントに <*EMPTY-> テキストが追加されてしまうため、手動で削除する必要があります。

メニュー検索でメニューを検索した後、メニューオプションをクリックしたときのサイドバーメニューの無効な動作

[Issue 12946](#)

サイドバーメニューでメニュー検索を有効にして、ユーザーが検索後にインデントされたオプションをクリックすると、ページは正しく表示されますが、ユーザーが選択したオプショングループを折りたたもうとしてもグループが折りたたまれません。

解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.10)

リリース日:2024 年 4 月 9 日

すべての Transaction テンプレートに適用されるグローバル変数が Service Layer Data オブジェクトで定義されない

[Issue 13024](#)

WorkWithPlus 設定ですべての Transaction テンプレートに適用されるグローバル変数を定義している場合、パターンが [データアクセスの実装 = サービスレイヤー] のトランザクションに適用されると、生成される「Data オブジェクト」には変数が定義されません。

手動で構成された動的な条件を使用してトランザクションの外部キーを介した拡張コンボの問題

[Issue 13025](#)

手動で構成された動的な条件によって、トランザクション内の外部キーを介した拡張コンボでフィルタするとき、場合によっては、「for each」の挿入モードに必要な条件が含まれません。

これは、たとえば、外部キーに CountryId/CityId などの複数のキーがあり、CityId に手動で構成された拡張コンボで国をフィルタする必要があり、挿入モードの「for each」にこの条件が含まれていない場合に発生します。これは、ユーザーがインスタンス化された CountryId と CityId を使用してトランザクションにアクセスする場合 (たとえば、GridTab からアクセスする場合)、City タイトルが正しくない可能性があることを意味します。

異なる名前とタイプのトランザクションのサブレベル

[Issue 13032](#)

複数のレベルのトランザクションがあり、サブレベルのその名前が [Type] プロパティと異なる場合 (通常はリバースエンジニアリングが使用される場合)、パターンを適用するときにエラーが発生します。

List オブジェクトで使用できないモードへの自動リダイレクト

[Issue 13031](#)

AI モジュールが有効で、Standard Action (Insert) が有効になっていない List オブジェクトがある場合、List オブジェクトには、各 List オブジェクトで有効かどうかに関係なく、すべての Standard Action (Insert、Update、Delete) への自動リダイレクトが含まれます。

AI が有効な 600 を超えるインスタンスを持つ AI モジュール

[Issue 13033](#)

AI モジュールを含むナレッジベースがあり、それが 600 を超えるインスタンスで有効になっている場合、.Net Core でコンパイルすると次のエラーが表示されます:

```
...¥wwp_aigetlistdata.cs(2879,32): error CS8078:
```

エクспレッションが長すぎるか複雑すぎるためコンパイルできません。

```
C:¥Models¥Storetek_V1b¥NETSQLServer001¥build¥workwithplus.ai.wwp_searchinnlwc¥workwithplus.ai.wwp_searchinnlwc.csproj
```

List オブジェクトの NaturalLanguageQuery アクションが「Web Component」として設定されている

[Issue 13035](#)

NaturalLanguageQuery アクションを含む「Web Component」List オブジェクトがあるとき、AI オブジェクトは WWP_AIGetListData プロシージャに追加されず、NaturalLanguageQuery アクションは正しく動作しません。



モジュール内のトランザクションでの AI モジュールの有効化

[Issue 13037](#)

モジュール内のトランザクションで WorkWithPlus AI モジュールを有効にすると、実行時に次のエラーが表示されます。

次の ListData が見つかりませんでした: <ModuleName>_<ListName>